

平成29年度 学校評価総括表まとめ 伊丹市立こやのさと幼稚園

| 教育目標 | | のびのびと力いっぱい活動する子どもの育成 | | | | | | |
|----------------|---|---|--|---|-------|---|---|---|
| 重点目標 | | 1、意欲を高める保育を実践する。 2、一人一人の発達を促え、身体を動かす心地よさを味わえるような状況作りを行い、心身共に健やかな成長に努める。 3、家庭、地域、小学校、中学校、未就園児など共に育ち合う教育内容の工夫に取り組む。 | | | | | | |
| 項目 | 重点項目 | 具体的施策 | 達成目標 | 自己評価 | 成果と課題 | 改善策 | 学校関係者評価 | |
| 学力の向上 | 自ら学び考える力を育む教育の推進 | ・子どもたちの意欲を高める保育の実践。 ・保育力の向上と改善をめざした研究をすすめる。 | ・自発的に活動しようとする意欲が高まるように、運動遊びを視点として保育に計画的に取り組む。 ・研究発表に向けて、二週間に一度の事例研究、1学期は月一回の職員が保育を見合う園内研修を進める。 | ・24ヶ月を見通した表を基に運動遊びを職員間で協議しながら短期指導計画の中に取り入れて進める。 ・教職員アンケートで「園内研修で保育力向上につながる学びを得た」と答えた割合が8割を超える。 | A | ・短期指導計画に位置づけ、取り組むことができた。 ・教職員アンケートで「園内研修で保育力向上につながる学びを得た」と答えた割合がA、B合わせて100%で目標を達成した。 | ・今年度の実績を基に年度末に年間カリキュラムの見直しを行う。来年度も引き続き子どもの意欲を高める保育を実践する。 ・来年度以降も研究や研修を通して保育力向上を目指していく。 | ・伊丹市指定研究発表会で、これまでの積み上げが発表されていた。今後も、魅力ある保育内容の取り組みに期待する。 |
| | 子どもたち一人一人の個性や能力に応じた教育の推進 | ・一人一人の心身の発達を促えた教育を推進する。 | ・子どもの一人一人の発達段階について実態把握する。 ・発達を促えた運動遊びを継続的に行う。 | ・子どもの発達について運動の視点で実態把握をする。 ・子どもの姿勢や身体の動かし方に変化が見られた。 | A | ・3週間ごとの立位を写真撮影して分析し、個々の子どもの実態把握を行った。 ・運動遊びを継続して行ったことで一人一人の子どもの姿勢や身体の動かし方に変化が見られた。 | ・年間カリキュラムに基づき、子どもの実態に合わせて引き続き運動遊びを継続的に行っている。 | ・研究を通して、具体的な取り組みが子どもの成長につながっている。 |
| | 特別支援教育の推進・充実 | ・特別支援教育コーディネーターを中心として、継続した専門機関との連携から、一人一人の良さや違いを認め合い、共に育つ特別支援教育に努める。 | ・子どもの育ちを促え、個別の指導計画や個人記録を作成すると共に、巡回相談や医療相談、言葉の支援教室等の専門講師からの助言を具体的な支援内容や方法に活かしながら職員間で共通理解を行い実践していく。 | ・関係機関の活用や保育の工夫により、個別の指導計画にあげた目標を達成させることや、互いに認め合い、共に育ち合える学級経営を行う。 | B | ・関係機関の助言を活かし全職員で協議して共通理解し、保育に当たったことで個別指導計画逃げた目標は達成した。 ・子ども同士がそれぞれの違いを認め合いながら育ち合えるような学級経営を引き続き行う必要がある。 | ・個別の支援を必要とする子どもや、子ども同士の人間関係については、今後タイムリーな情報共有に努め、組織的な支援体制を維持していく。 | ・子どもの姿に応じた細やかな取り組みの工夫がなされている。 ・子ども、保護者共に就学後もつながり、共に育ち合える取り組みを意識されている。 |
| 豊かな心・健やかな体 | 豊かな心を育む道徳教育、情操教育の推進 | ・すこやかネットまつさき10箇条を活用した心の教育をおこなう。 ・子どもの人権や子育てを振り返り、人権について考え合う。 | ・毎月の目標を保育の中で意識して取り入れる。園だよりで保護者に知らせ啓発する。 ・子育てや自尊感情、一人一人を大切にすることなどに視点をあて、保護者同士が意見を出し合う機会をつくる。 | ・毎月の目標を意識して保育に位置づけ取り組む。 ・子どもや保護者自身の自尊感情に視点をあてたパーストークや、人権に視点をあてた学級懇談会を計画的に行う。 | B | ・毎月の目標を保育の中に取り入れ、園だよりで保護者に知らせることができた。 ・各学年の保護者の実態に応じた、計画的に学級懇談会やパーストークを行うことができた。 | ・クラスだよりの文言に「今月のすこやかネットまつさき10箇条にもあるように」と書くことで、保護者の意識をより高められるようにする。 ・来年度も、保護者の実態に応じた学級懇談会やパーストークを行う。 | ・引き続き、子どもも保護者も人とのかわりを通して、共に育ち合える機会を大切にしていきたい。 |
| | 子どもの健やかな体づくりの推進 | ・早寝・早起き・朝ごはんを定着させ、基本的な生活習慣を確立させる。 ・身体を動かす心地よさを味わう保育をすすめる。 | ・けんこうカレンダーやレッドコート検査、食育研修会など、保護者と共に取り組む機会をもつ。 ・律動やダンス、鬼ごっこ、ルールのある遊び、挑戦する遊びなど身体を楽しく動かす活動を仕組む。 | ・ほけんだよりや学級懇談会、啓発プリントなどで、さらに話題にあげ健やかな体づくり家庭と連携を行う。 ・各学年の段階に合わせた、友達と楽しむ運動遊びや、自分で挑戦しようとする運動遊びに計画的に取り組む。 | A | ・保護者アンケートでは、AとBの合計が93%以上であり、早寝・早起き・朝ごはんの大切さを家庭に啓発することができた。 ・運動遊びの年間カリキュラムを作成したり、遊びごとに展開計画を作成したりし、計画的に取り組むことができた。 ・今年度は、教育講演会や親子で遊ぼうタイムを実施し、園での取り組みを保護者に分かりやすく伝えることができた。 | ・引き続き家庭と連携し、基本的な生活習慣の確立を啓発したり、身体を動かす心地よさを味わう保育を実践したりする。 | ・今年度新たに取入れた親子の遊びは習慣となるので重要である。早寝、早起き、朝ごはんを基本とし、身体を動かす習慣づくりに、今後も親子で取り組んでほしい。 |
| 開かれ信頼される学校園 | 保護者との連携 | ・運動遊びの重要性や絵本の読み聞かせについて家庭への啓発を行い、家庭で子どもと向き合う時間の推進をする。 | ・よみきかせカードの取り組みを引き続き行い、継続してよみきかせカードを掲示し保護者啓発を行っていく。 ・共にできる運動遊び、アンケート、保育参観を実施する。 ・れんらくちょうの活用と、クラス集団としての育ちや、教育の内容がわかりやすいクラスだよりの発行を行う。 | ・アンケートの中で各家庭で読み聞かせや運動遊びで子どもと向き合うことの大切さを感じると答えた回答が8割を超える。 | B | ・アンケートでは、読み聞かせや運動遊びについての項目で子どもに向き合う時間が増えたとの回答が8割を超えた。今後も啓発していく。 ・わかりやすいクラスだよりの発行を心がけた。れんらくちょうの活用はさらに進め、子どもや教育内容の共有につなげる必要がある。 | ・今年度から始めた親子で遊ぼうタイムを来年度も継続して行い、さらなる親子で向き合う時間を進めていく。 ・実態に応じ、工夫したクラスだよりの発行、れんらくちょうのさらなる活用に取り組む。 | ・保育の具体的な取り組みが保護者に伝わりやすいクラスだよりに、れんらくちょうの工夫に努めてほしい。 |
| | 地域との交流 | ・園外へ積極的に園情報を発信する。 ・門外の掲示板設置することを進める。 | ・HPの更新を進める。 ・門外の掲示板設置することを進める。 | ・5月5回以上更新する。 | B | ・さらなるHPの更新に努める。 ・門外や園玄関内の写真掲示を定期的に行い、園での教育内容の発信に努めることができた。 | ・HPは、行事の他、日々の教育内容の発信に努め、更新していく。 ・門外の掲示板設置は今後も進めていく。 ・子どもの日常や保育内容が視覚的に伝わりやすいよう、今後も定期的な写真掲示をしていく。 | ・保育が目で見えてわかる写真掲示はこれからも続けていってほしい。 |
| 学校関係者評価総括 | 地域との交流 | ・地域の幼稚園として、いろいろな地域の方とのかわりを深める。 ・小学校、中学校、未就園児など地域と共に育ち合う教育内容の工夫に取り組む | ・苗圃を活用する会の地域ボランティアの方、地域の会の方との交流の機会を持つ。 ・未就園児、小学生と園児が交流する機会を増やす。 | ・地域との関わりが継続してもたか。 ・未就園児への積極的な園庭開放や自由参観などに取り組む。 | B | ・毘陽南公園での米作り体験や、親子園外保育、苗圃を活用する会の方々とのかわり等、継続してもつことができた。 ・小学校こやリンピックの見学や体験、給食試食会での交流などの機会が持てた。 ・未就園児へ園庭開放や自由見学などの発信を行った。 | ・地域、小学校、中学校との連携に関する年間計画を見直し、修正したものをもとに来年度も積極的な連携に向けて取り組む。 ・未就園児親子遊びの実施に向けて進めていく。 | ・地域とのつながりの積み重ねを感じる。引き続き、積極的な地域とのかわりをもってほしい。 ・幼稚園、小学校の連携、交流は子どもにとって得るものが多い。今後も積極的に取り組んでほしい。 |
| | 学校関係者評価総括 | ・具体的な取り組みを通して、子どもたちの健やかな成長が得られた。今年度有効であった保育内容や保護者との取り組みをさらに深めていくことが重要である。 ・引き続き、園、子ども、保護者、地域が共に育ち合う教育の推進に期待する。 | | | | | | |
| 次年度に向けた重点的な改善点 | ・今年度の取り組みを活かし、年間計画に位置づけると共に、新幼稚園教育要領を踏まえた教育の向上に努める。 ・乳幼児期から就学後を見通した教育を進め、地域と共に育つ開かれた幼稚園教育を進める。 | | | | | | | |